

生活体験作文でみる在校生の「声」

Q、生徒生活体験発表会とは？

A、生徒生活体験発表会とは、生徒自身が高校生活で得たものや、入学してできた将来の目標などをテーマに作文し発表する会のことです。本校では例年7月に校内で発表し、地区大会出場者を決めます。発表会は県大会・全国大会とあり、それぞれの出場をめざして学校全体で取り組んでいます。多様な教育歴のある生徒が多く在籍する本校では、作文の内容もさまざまです。今年度入学生の作文を原文のまま紹介させていただきます。

「高校生になって」 平成26年度入学生H・Tさん

私は、高校生になって変わったことがあります。まず、自分自身が前向きになったことです。中学生の頃は、内気な性格で人見知りも激しくて話すことも苦手だったのですが、高校に入学して、周りのクラスメイトのおかげもあり、積極的に行動できるようになりました。そのため、友達もたくさんできて友達との付き合い方も中学生の頃と比べて、良い方向に変わってきたように思います。そして、私にとっての一番、変わったと思えることは、学校へ行くのが楽しみになったということです。

小学生、中学生の時は勉強についていけず、学校を休むようになり、学校が楽しくありませんでした。友人関係も悪くなった時期もあって、余計に学校へ行くのが嫌になってしまいました。ですが、高校生になってからは、これからが肝心だと思い、勉強を人一倍頑張っ、勉強についていけるようになっていき、学校へ行くのが、私の楽しみになっていきました。

そして、これからの学校生活の目標は、無欠席で卒業することです。そのために規則正しい生活を心がけて、できるだけ早くアルバイトを始め、勉強をもっと頑張っ、アルバイトと学校生活の両立をしていきたいです。両立することは大変なことですが、中学を卒業してから決めていた目標なので達成できるようにしたいです。

私の将来の夢は人の役に立つ物や、便利な物を開発したり、作る人になることです。そのためには、高校生のうちに計画を立てたり、将来の夢に近づけるような勉強をしていきたいと思います。

高校を卒業した後の進路は、具体的にはまだ決まっていませんが、高校生活の四年間で自分にあった進路を決めて将来の夢に向かっていきたいと思っています。

そして、最後に今、こうして充実した学校生活を送れているのは、高校の先生方やクラスメイト、中学の時に受験勉強を教えてくれた担任の先生や部活の顧問、私が困っているときに相談に乗ってくれた友達、親身になって話を聞いてくれたお父さんやお母さんのおかげだと思います。

この感謝の気持ちを忘れず、これからも春日部高校定時制で頑張っ、いきたいと思っています。

生活体験作文でみる在校生の「声」

『昔とこれから』 平成26年度入学生S・Dくん

僕は、春日部高校定時制に入るまでは、大変でした。定時制に入学する前は、何もしない人でした。中学生の頃は、一年生の冬まで学校に行き勉強をしていましたが、好きな野球をやめてからは、休んだり、遅刻したり、勉強もしなくなって、学校もほとんど行かなくなりました。

二年生の時には先生と喧嘩をしたり、先輩と遊んだりするようになりました。そのまま悪さをしながら三年生になり、最初のうちは全日制に行きたい、また野球をやりたいと思って頑張っていました。途中で髪を染めたり、悪さをして、また学校に行かなくなっていました。「このままじゃダメだ」と思い二学期の途中から必死に頑張るつもりで全日制を受験しようと思いました。でも自信が持てず、その結果落ちてしまいました。

仕事をしようか、定時制に行こうか迷っていたところ、親には「高校だけは卒業しときな」と言われました。最初は落ちた時のショックで「行かない」と言っていたのですが、友達にも「もう一回頑張ってみない」と言われ、チャレンジし、その結果、春日部高校定時制に入学しました。

この高校に入って中学の時とは変わりたいと思っています。まず、中途半端にしないで、やる時はやる、遊ぶときは遊ぶ、というようにオンとオフを切り換えていきたいと思っています。次に、高校生になったからには、やっていいことと、やってはいけないことを区別し、落ち着いた学校生活を送りたいと思っています。そして、とにかく学校をサボらず、卒業することです。中学の時は行かなくても卒業できましたが、高校は義務教育ではないので、学校に毎日行って、勉強をしっかりとやり、卒業したいと思っています。しっかりと高校生というプライドを持って、今後生活していきたいです。

高校生になってから見つけた目標がサッカーです。僕はサッカー部に所属しています。僕は素人だけど周りに迷惑をかけず、次の大会や来年のために努力して勝っていきたいです。

そして、一番の目標は学校に四年間しっかりと通って、卒業することです。春日部高校定時制に入学する前、中学の先生・親・友達にたくさん迷惑をかけてきたので、途中でやめなくて、最後まで頑張りたいと思っています。今の僕は、まだ中学生気分がぬけていませんが、しっかりと立場を自覚して、これからの大事にしていきたいです。